

ブーンアレス[®] モンガレス[®] 箱粒剤

いもち病

紋枯病

ウンカ類

初期害虫

チョウ目

高密度は種対応

は種時から

WCS※使用可

稲の病害抵抗性がアップ!

新規3成分が 稲を守る!

- ・水稻の主要病害虫を一度に防除可能。
- ・高密度は種対応、WCS※使用可。
- ・長い残効性。



紋枯病



トビイロウンカ



コブノメイガ

いもち病



幅広い害虫に
Oxazosulfyl
オキサゾスルフィル



紋枯病に!
Inpyrfluxam
インピルフラキサン

アレス[®]モンガレス[®]は住友化学(株)の登録商標
ブーン[®]、はクミアイ化学工業(株)の登録商標

※WCS:稲発酵粗飼料

ブーンアレス® モンガレス® 箱粒剤

殺虫剤分類 37
殺菌剤分類 7,P8

有効成分

オキサズルフィル 2.0%
インピルフルキサム 2.0%
ジクロベンチアゾクス 2.0%

人畜毒性

普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

いもち病、紋枯病に
優れた効果と長い残効性

新規系統の殺虫成分で既存殺虫剤に
抵抗性を持つ害虫にも優れた効果

3成分で水稲の主要病害虫を
総合的に防除可能

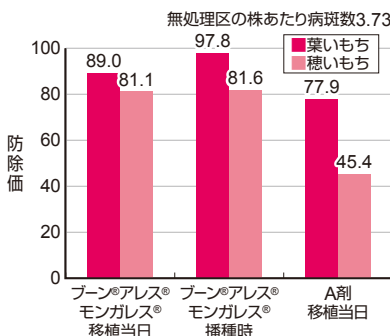
適用病害虫と使用方法

2025年12月現在

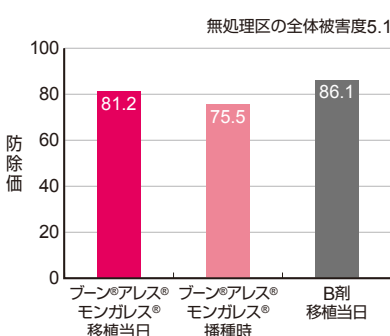
作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサズルフィルを含む農薬の総使用回数	インピルフルキサムを含む農薬の総使用回数	ジクロベンチアゾクスを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病、白葉枯病、イナゴ類 内穎褐変病、もみ枯細菌病、 穂枯れ(ごま葉枯病菌)、紋枯病 ウンカ類、ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ、コブノメイガ イネドロオイムシ、イネツトムシ フタオビコヤガ、ニカメイチュウ イネヒメハモグリバエ	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日	1回	育苗箱の 上から 均一に 散布する	1回	1回	3回以内 (移植時までの 処理は1回以 内、本田での散 布は2回以内)
		高密度には種する場合は 1kg/10a(育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)						
	イネカラバエ	育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	移植当日					
		高密度には種する場合は 1kg/10a(育苗箱(30×60× 3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)						

新農薬実用化試験成績

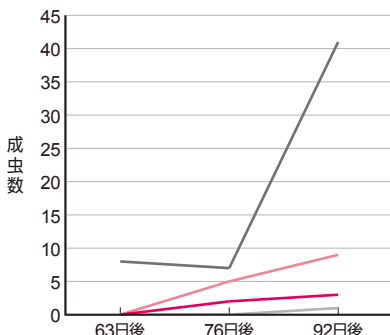
●いもち病に対する効果



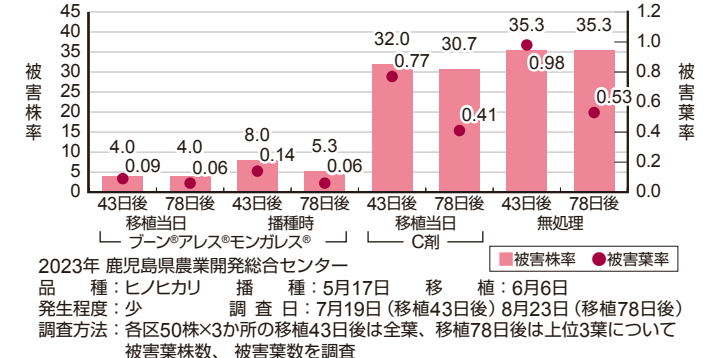
●紋枯病に対する効果



●トビウロウカに対する効果



●コブノメイガに対する効果



【使用上の注意事項】

- 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。
- 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。
- 苗を移植機にのせる際、育苗箱の土壌表面が乾燥している場合は薬剤が落下するおそれがあるため、散布後に葉に付着した薬剤を払い落としその後軽く灌水してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後に田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、処理した稲苗を移植した水田及び隣接した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

- 低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長スポン、長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石鹸でよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 保管…直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。



本資料は2025年12月現在の
知見に基づいて制作しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。



JAグループ
農 協



経済連

全農は登録商標 第4702318号



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社: 東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL.03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>

2601(26-6)